

令和2年度 第5回 (確定稿) 西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会要点記録

■日 時：令和3年1月12日(火) 18時30分～19時30分
■会 場：オンライン (Zoom)

1. 報 告 事 項

- (1) 業務報告(令和2年11月・12月)について(資料1、2)
- (2) ボランティア懇談会「やさしいオンラインのはじめかた」について(資料3)
- (3) 業務予定(令和3年1月・2月)について(資料4)

【事務局】より業務報告を行った。

【委員】特に質問無し。

2. 審 議 事 項

- (1) 令和2年度第4回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会記録(未定稿)について(資料5)

※次週月曜日までに訂正・加筆をいただき、修正したものを確定稿としたい。

→訂正・加筆がなかったため、確定稿とした。

3. 協 議 事 項

- (1) 災害ボランティアセンタースタッフ養成講習会の実施について(別添チラシ)

【事務局】 現在、緊急事態宣言が発令されている状況ではあるが、田無総合福祉センターの部屋の使用は禁止になっておらず、人数制限に関しても変化はないため、換気消毒薬の準備を行い、講座参加者に関してもスタッフも含め、部屋の制限よりも少ない人数で行うなどの対応を行い、計画通り参集の形で開催する。
但し、部屋の使用禁止や外出自粛に関する要件の変更など、参集が難しい場合には中止とする。

【委員】 特に意見無し。

- (2) ボランティア活動室の利用について

【事務局】 田無総合福祉センターの部屋利用について、20:00までには総合福祉センターから退館の指示があったため、ボランティア活動室の利用方法について変更を行った。

【委員】 特に意見無し。

- (3) ボランティアはじめて講座について(資料6)

【事務局】 講座を受けていただき、ボランティア登録に繋げるという趣旨のため、参集という形で実施をする。
但し、部屋の使用禁止や外出自粛に関する要件の変更など、参集が難しい場合には中止とする。

【委員】 ①企画第2部の車椅子体験などは、例年と同一内容で実施するのか。②人数制限に関してはどう考えているのか。③例年はじめて講座に参加される方達はどれくらいの割合で登録されるのか。

【事務局】 ①例年は参加者同士ペアになり、車椅子体験を行ってもらっているが、本年は一人一台の車椅子を用意し、参加者同士が接触する機会は作らず、車椅子の座り心地や折りたたみ方、乗り降りする際の注意点などを知ってもらう。例年行っている車椅子の押し方などに関しては、職員が見本を見せる形で行う。
②人数に関しては、定員50人の部屋を使用し、昨年に参加定員の半分で行う。
③例年、参加人数は多くないが、参加者の7割から8割が登録している。

- 【委員】 来年度からは、車椅子だけではなく、ボランティア活動に必要なになってくる様々なテーマの検討も行ってほしい。
- 【委員】 車椅子というテーマで、ボランティアをしたいという人がどれくらいいるのか又依頼者からのニーズはどれくらいあるのか。
- 【事務局】 車椅子というテーマは誰でもがボランティアに入りやすいテーマで、あまり難しいテーマにしてしまうと、ボランティアは難しいというイメージをもたれてしまう。現在の状況では難しいところもあるが、例年は施設内での介助や通院同行の際の介助などニーズは高かった。
- 【委員】 車椅子に乗るということは普段体験できないものであり、それを知ることによって介助される側の気持ちを分かってもらうことは非常に良いことなので続けてもらいたい。
- 【事務局】 来年度に関しては、社会状況に合わせて、車椅子以外の体験などについても検討を行いながら、もっと多くの方に関心を持っていただける講座としたい。

(4) 協働推進センターゆめこらぼとの一体的運営について（資料7）

- 【事務局】 一体化を検討するに至る流れについて資料にて説明を行う。
- 【委員】 ゆめこらぼ受託のプロポーザルでは、一体化の提案に市はどのような反応だったか。
- 【事務局】 一体化という方向性で進めていくことについては認めてもらったと考えている。
- 【委員】 まず一体化を考える際にボラセンとゆめこらぼの役割の違いについて知ったり、ゆめこらぼのこれまでの活動について知るなど、お互いのことを理解することも一体化について話し合う上で重要なのではないか。
- 【事務局】 ボランティアセンターは個人をつなげる。裾野を広げる。ボランティアの啓発活動の実施。グループ化へのサポートなどを行っている。ゆめこらぼは、円卓会議などを実施することにより、市民活動団体から協働への進展をサポートしている。
- 【事務局】 今回の「一体化」に関して、ゆめこらぼの運営委員会では次のような意見があった。「組織的な統合」を指しているのか、事業を行う際の「連携や協力・共催」などを目指しているのかわからない。今回の「一体化」が何を示しているのかイメージしにくいので、まずはそこから少しずつ考えてはどうか。
- 【委員】 まずは、「組織的な統合」に向かうというよりは、重なる事業を一緒に取り組み、お互いのことを理解しながら徐々に進めていってはどうか。
- 【委員】 一体化することによってどちらの立場が優位に立つなどの問題も出てくるかもしれないが、それぞれの特性にあった動きを残せると良いのでは。
- 【委員】 ボランティアが活動から離れていってしまうようなことや、ボランティアの思いや気持ちを置いて行ってしまうようなことにならないようにして欲しい。
- 【事務局】 今後の方向性について、運営委員会で継続して協議を行いたいと考えているので、ご協力をお願いしたい。

4. そ の 他

(1) 令和3年度予算について

【事務局】 本年度よりも少なくなる予定

(2) 次回運営委員会開催日程について

■日時：令和3年3月9日（火） 18時30分～20時00分

■会場：Zoom 開催

(3) そ の 他

特になし

配布資料

- 資料 1 : 西東京ボランティア・市民活動センター事業月次報告(令和2年11~12月)
- 資料 2 : コーディネート状況等月次報告(令和2年11~12月)
- 資料 3 : ボランティア懇談会「やさしいオンラインのはじめかた」 実施報告書
- 資料 4 : 西東京ボランティア・市民活動センター予定表(令和3年1~2月)
- 資料 5 : 令和2年度第4回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会要点記録
【未定稿】
- 資料 6 : 「ボランティアはじめて講座」事業実施企画書
- 資料 7 : 西東京VACとゆめこらぼの一体化に向けて
- 資料別冊 : 「災害VCスタッフ養成講習会 令和2年度」チラシ